

## 多摩市

【児童・生徒数】  
9,859名

【学校数】  
26校

### 【多摩市の特色】

- ・公園が多数あり、緑豊かな自然環境に恵まれている。
- ・近隣の企業や大学等と連携が取りやすい環境にある。



### 【課題・改善】

○日々の体育の授業に加え、運動の機会を設けたり、多様な運動やスポーツに触れたりするなど、年間を通じて運動習慣定着のためのきっかけづくりや、運動の楽しさを味わわせることができた。取組を一過性のものにせず、個々の運動習慣の確立に向けた取組を継続、取組校以外にも還元していくことが課題である。  
⇒今後は、本取組について、動画等を通して広く紹介していく。

### 目標

- ・「運動やスポーツは大切ですか」肯定的な児童・生徒の増加（90%以上）
- ・運動やスポーツをもっとしたいと思う児童・生徒の増加（85%以上）

### 【成果】

○運動習慣に関わる意識調査アンケート「あなたにとって、運動やスポーツは大切ですか」を6月、1月に実施した。小学校児童は、肯定的な回答の割合は91%から92.5%と、中学校生徒は、85.8%から94.4%といずれも増加した。  
○運動習慣に関わる意識調査アンケート「授業以外でも運動やスポーツをもっとしたいと思いますか」において、肯定的な回答の割合には、本事業に取り組んだ3校で、85.5%（市平均83.8%）と運動やスポーツに意欲的であった。

### 【実態・課題】

○「運動・スポーツをすることが好き」と回答した割合は、東京都の平均と比較すると小学校女子及び中学校生徒で低い傾向にある。  
○「運動やスポーツをもっとしたいと思う」の項目に否定的な児童・生徒が一定数いる。  
⇒児童・生徒の興味・関心を高めるため、多種多様な運動やスポーツに触れる機会を創出し、運動やスポーツの楽しさを実感さ

### 【取組】

○授業（体育科・保健体育科）の取組  
・近隣の大学と連携した投げ方・走り方教室、オリンピック、パラリンピアンによる特別授業を実施  
○休み時間・放課後活動の取組  
・近隣の大学と連携した放課後の部活動「enjoy!スポーツ部」、休み時間に様々な運動機会を創出する「イチリンピック」、「タグフライデー」の実施  
○健康安全・体育的行事の取組  
・都立多摩桜の丘学園と連携し、マラソン大会を実施  
○親子スポーツ教室の取組  
・保護者参加型のスポーツ体験を実施

## 【取組の詳細】

### ○ 外部講師と連携した取り組みの充実

- ・小学校において、ハンドボールコーチによる投げ方教室、近隣の大学と連携した走り方教室などを実施した。専門性の高い外部講師と連携し、児童・生徒が卓越した技能を目の当たりにすることで、児童・生徒の運動への意欲を高めるとともに、技能の的確な実技指導を行うことができた。



ハンドボールコーチによる  
「投げ方教室」

### ○ 休み時間・放課後活動の取組

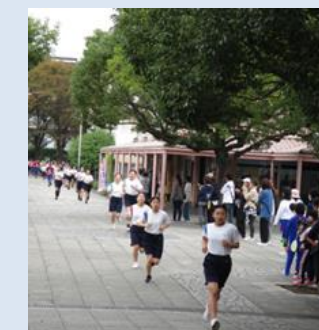


「イチリンピック」で行った「5秒間走」

- ・小学校において、全校児童に校庭で体を動かすことの楽しさを味わわせるために、「タグフライデー」を設定した。また、休み時間に児童が多様な運動に親しむことができるよう「イチリンピック」を行った。

### ○ 健康安全・体育的行事の取組

- ・中学校において、都立多摩桜の丘学園と連携し、合同でのマラソン大会を実施。速さを競うだけでなく、互いに応援し、大会を支え、交流した。



沿道の保護者や地域の方々から  
声援をもらって走る生徒たち

### ○ 親子スポーツ教室における多様な運動機会の創出



国士舘大学と連携して行った  
「親子スポーツ体験」

- ・近隣の大学と連携し、11月の土曜日、学校公開日後に「親子スポーツ体験」を開催し、フラフープ、竹馬、ストラックアウト、ボッチャなど全11種類の多様な運動に親子で親しむ機会を創出した。  
大学生と交流することで、世代の違う相手と一緒にスポーツに親しんだり、フラフープや竹馬などを上手にできるようポイントを教えてもらったりすることができた。